

思いやりの心・かけがえのない命を大切に



仲良く砂場遊びを楽しむ猪名川保育園の園児達

12月4日～10日は人権週間

人権を考える町民のつどいを開催

12月3日(土)午後1時30分から

12月4日から人権週間が始まります。現在、私達の身の回りでは、女性や障害者・外国人に対する差別、子どもの人権問題、病気に對する偏見、同問題などさまざまな人権問題が存在します。

人権週間をひとつの機会として、「人権の大切さ」を一人ひとりが考え、家族や職場、地域社会で話し合い、明るいきいきとした社会をみんなで築いていきたいと思います。

12月10日は、昭和23年国連総会において「世界人権宣言」が採択されたことを記念して「人権デー」と定められています。この「人権デー」を最終日とする1週間が「人権週間」です。

本町では、2000年に「人権教育のための国連十年

猪名川町行動計画」を策定し、「人権文化」のまちづくりを推進しています。文化とは、学問・芸術・スポーツから言葉・服装・流行・風習・道徳・まじりなど、社会を構成する人々によって共有され、伝達される行動・生活様式を指し、人権とは、あらゆる人々がお互いの存在と尊厳をかけがいのないものとして認め合うことです。

▼内容 人権講演会
「演題」 部落問題を見つめなおす
「講師」 奥田均さん(近畿大学人権問題研究所教授)
▼主催 猪名川町、猪名川町教育委員会、猪名川町人権・同和教育協議会
特設人権相談所の開設と街頭啓発を実施
神戸地方方法務局伊丹支局と伊丹人権擁護委員協議会では、「第57回人権週間」行事の一環として、12月7日(水)午前

「人権を考える町民のつどい」に参加を!

覚・意識が、人々の頭の中だけの知識で留まっていけない「生きた人権」の普及への取り組みです。人権週間を迎えるにあたり、人と人とのつながりの大切さ

人権作文

「やつぱりおかしい」を勉強して、私もともさんと同じようにお母さんの言っていることはおかしいと思った。だって、習字に行くとき、いつもふみきりをわたつて、西町に行くときだけ、あぶないからだめというのはおかしいと思う。

「なんで行ったらあかんの?」つと習字に行くときもふみきりを通つてるやんか!お母さん、西町がきらいなん?」つて言うと思う。それでもだめつて言われたら、「せつない、いやや!」つて勇気を出して言うと思う。

でもまだ、あかんつて言われたら、「私がなつとくする理由が聞けるまで、なんで?つてきくで!」お母さんの言っていることは、やつぱりおかしいもん!」つて言うと思う。

猪名川町警察官表彰

町の治安維持や交通安全などに多大な貢献のあった警察官を表彰する警察官表彰が、11月22日役場で行われ、次の2名が受賞されました。

鎌田 和行警部補(写真左)

平成11年3月、川西警察署に配置以来、交通指導係を経て、同15年9月から交通総務係長として交通安全教育に熱心に取り組まれているベテラン警察官です。

子どもや高齢者など、年齢層別講習や企業への講習、また早朝の通学時間帯や薄暮時における交通監視活動に積極的に取り組み、歩行者の保護誘導と運転者に対する指導を徹底し、交通事故抑止に大きく貢献されています。

小牧 直文警部補(写真右)

平成15年9月、川西警察署に配置され、管内でのパトカー勤務を経て、本年11月、生活安全課少年係に配属されました。

パトカー勤務においては、長年の経験と知識を生かし、管内住民の要望・意見を的確に把握し、犯罪の予防検挙・少年補導を積極的に推進しておられます。これまで、無免許・酒気帯び事件の検挙、恐喝事件検挙など、身近で発生する事案を数多く解決し、犯罪のないまちづくりに大きく寄与されています。



秋の叙勲

肥爪弘さんに 瑞宝双光章

今年の「秋の叙勲」で、猪名川町から肥爪弘さんが荣誉に輝きました。

肥爪弘さん(木津上・81歳)は、昭和18年から同60年までの41年間、国民学校訓導、公立小学校教諭・教頭、公立中学校校長を歴任されました。

温厚・篤実でひたすら子ども達を愛し、教育の道に情熱を傾け、へき地教育を含め学校教育の振興と充実に貢献されました。また、社会教育委員や自治会長会副会長として、退職後には保護司会会長や老人クラブ連合会役員など、豊かな識見と卓越した手腕を発揮し、地域における教育や福祉に尽力されるなど、多くの功績が認められたものです。

肥爪さんは「教師一同一丸となり、子ども達の教育・健全育成に取り組んできました。また、子ども達もそれに応え、一生懸命ついてきてくれました。これまでの功績が認められ、うれしく思います」と喜びを語られました。

